講義名	キャリア実践論(4年生のみ)			授業形態	
担当教員	中山　一郎	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 ２時限		
		単位数	2	履修開始年次	３年生	ナンバリング・コード	CAR320

主題と概要

大学生は、就職という社会への入口に不安を抱いている。学生は多種多彩なスキルを評価する就職試験にも戸惑いがある。就活はスタートラインである「何のために働くのか」という働くことの意義を自覚し、その上で社会・企業が求めている社会人基礎力を中心とした知識と能力を自ら磨いていくことが大切である。 就活は３年生の後期から準備が始まり、４年生の前期まで続く（未決定の場合は卒業まで続くこともある）。就活対象者は自分の強さや長所を再認識し、志望理由を明確化させる必要がある。また企業が期待する求める人材像やコンピテンシーを理解し、自己成長の目標に挑戦していくことが重要となる。 授業概要は、自分の強み・弱みを知ること（自己ＰＲ）。また、働くことの意義（価値観）、自分にとって良い会社の定義で志望動機を考えること。さらに、自己アピール力、プレゼンテーション力、会話力（面接・グループディスカッション）を高めるために、実践的な演習を交えて展開する。

到達目標

到達目標は、「なぜ働くのか」「あなたの強み」「あなたにとってよい会社の条件」の問いに、しっかりとした考え方を身につけることです。その上で自己ＰＲの作成方法と会社選びの基準づくりを学び、総合的な就職力を高めていくことができるようになります。
・自分の強さ・弱さの分析から自己ＰＲをまとめることができるようになります。
・業界や職種や企業の意味を理解し、自己ＰＲと志望動機につなげていくことができるようになります。
・就職力を高め、自分の立てた目標設定と就職戦略を策定することができるようになります。

提出課題

毎回授業後に「リアクションペーパー」を提出してもらいます。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

「リアクションペーパー」を提出をした翌回の授業冒頭において、必要かつ可能な範囲でフィードバックを行います。

評価の基準

①毎回、授業内にて提出するリアクションペーパー、あるいは実施するミニテスト
②出席
※ 全授業15回の1/3以上（5回以上）の欠席者については「履修放棄」とする
※ 遅刻者は減点、さらに15分以上の遅刻者は「欠席」とする

履修にあたっての注意・助言他

月1の「キャリア実践論」も同じ名称の授業ですが対象は3年生ですので、4年生は火2の「キャリア実践論」を必ず履修してください。

教科書

.エピソードの就活.	中山一郎	晃洋書房	1900	9784771028296

参考図書

.なし.				

その他

プリント資料及び参考文献に関しては、使用する際に適宜配布、紹介します。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	○	ウ：ディスカッション、ディベート
○	エ：グループワーク	○	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）				

備考	特に卒業単位の取得がかかっている学生については、毎回、遅刻や欠席せずに出席し、リアクションペーパーを必ず提出してください。授業終了後の成績に関する個別の問い合わせや相談にはいっさい応じません。

授業計画

1　プロローグ～キャリア実践論のねらい～
予習内容：シラバスを熟読し、この授業の主題と概要や到達目標を確認する（90分）
復習内容：授業のふり返りとノートの整理および受講ルールや授業スタイル、評価方法などの再確認（150分）

2　就職活動のキホン（1）～就職活動の流れを知る～
予習内容：就職活動に関連する新聞記事やニュースなどの情報を事前にチェックしておく（90分）
復習内容：学んだことを参考に、自分自身の「就職活動の流れ」に沿って行動計画表を作成してみる（150分）

3　就職活動のキホン（2）～就職活動は科学である～
予習内容：就職活動ではどのような知識や知恵やスキルが求められるかを調べておく（90分）
復習内容：今日からできる対策を就職活動解禁日から逆残してスケジューリングしスタートさせる（150分）

4　自分づくりのキホン(1)～インフォーマル・アセスメント～
予習内容：自分の「興味」「能力」「価値観」の視点から自己分析をしてみる（90分）
復習内容：他者からみた自分という視点も取り入れて自己理解を深めてみる（150分）

5　自分づくりのキホン(2)～フォーマル・アセスメント～
予習内容：4回目の授業をベースに再度自分の「興味」「能力」「価値観」の視点から自己分析をしてみる（90分）
復習内容：「職業興味検査」の受検結果をもとにして、予習で自己分析した自分との共通点や差異を比較検討する（150分

6　企業研究のキホン(1)～会社とは何か～
予習内容：自分なりに「会社とは何か」ということを説明できるように調べてみる（90分）
復習内容：授業のふり返りとノートの整理、興味や関心のある会社について具体的に調べてみる（150分）

7　企業研究のキホン(2)～求人票の読み方～
予習内容：キャリア支援課へ行って、まずは実際の求人票をいろいろと見てくる（90分）
復習内容：学んだことを参考に、興味や関心のある企業の求人票を見て自分なりに分析や考察をしてみる（150分）

8　業界研究のキホン(1)～私と企業をつなぐ業界・業種選び～
予習内容：自分なりに「業界・業種とは何か」ということを説明できるように調べてみる（90分）
復習内容：授業のふり返りとノートの整理、興味や関心のある業界・業種について具体的に調べてみる（150分）

9　業界研究のキホン(2)～人生設計から業界・業種を考える～
予習内容：あえて興味や関心のない業界・業種について調べてみる（90分）
復習内容：興味・関心のあるなしではなく、多様な視点から業界・業種の研究を改めておこなってみる（150分）

10 職種研究のキホン(1)～私と企業をつなぐ職種・仕事選び～
予習内容：自分なりに「職種・仕事とは何か」ということを説明できるように調べてみる（90分）
復習内容：授業のふり返りとノートの整理、興味や関心のある職種・仕事について具体的に調べてみる（150分）

11 職種研究のキホン(2)～営業職のイメージとリアル～
予習内容：自分なりに「営業職」とは」どのような仕事かを調べてみる（90分）
復習内容：授業のふり返りとノートの整理、「営業職」という仕事に抱いていたイメージとリアルの比較を行う（150分）

12 履歴書・ES対策のキホン～自己PR、ガクチカの書き方＆伝え方～
予習内容：まずは自分なりに「自己PR」か「ガクチカ」を作成してみる（90分）
復習内容：学習したことを参考にして再度「自己PR」か「ガクチカ」を推敲・校正し直し完成させる（150分）

13　面接対策のキホン(1)～1分間で自己PRをしよう～
予習内容：1分間で伝える「自己PR」を作成する（90分）
復習内容：学習した内容を参考に「自己PR」を推敲・校正し直し完成させる（150分）

13　面接対策のキホン(2)～模擬面接を体験しよう～
予習内容：模擬面接の事前練習をおこなう（90分）
復習内容：模擬面接を実際に体験し、課題や問題をふり返って本番に向けて準備をする（150分）

14　面接対策のキホン(3)～グループディスカッションにチャレンジしよう～
予習内容：グループディスカッションとはそもそも何かについて事前に調べておく（90分）
復習内容：グループディスカッションを実際に体験し、課題や問題をふり返って本番に向けて準備をする（150分）

15 エピローグ～改めて、キャリア実践論とは～
予習内容：14回の授業内容をふり返る（90分）
復習内容：15回の授業内容をふり返って、実際の就職活動に活かす（150分）

※ 履修人数や受講生の状況や特性に応じて、授業内容が変更されることもあります

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

当該科目は、自分の強み・弱みを知ること（自己理解）。また、働くことの意味や意義（価値観）、自分にとって良い会社の定義で志望動機を考えること。さらに、自己アピール力、プレゼンテーション力、会話力（面接・グループディスカッション）を高めるために、実践的な演習を交えて展開することを目的とした授業であり、いわゆる「就職力を高めるための実践的科目」である。この科目を受講することによって、DPにおける自主・自立の精神を持った人材、知識を知恵に変換できる、論理的思考力を持った人材の育成が達成されると考える。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

質問やアンケートを「レスポン」で回答してもらうことがあります。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
具体的な事例やケーススタディーを紹介します。